

科目名	キャリアデザイン I		Subject	Career Design I				
サブタイトル	キャリア形成にむけて知識やスキルを学び未来に活かす。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	前期	必修						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回		11 回						
教員名	君野 和美			メールアドレス	kazumi.kimino@ . . .			
教員の略歴	玉川大学文学部教育学科卒業、明治大学リバティアカデミースマートキャリアプログラム修了、幼稚園教諭、スポーツメーカーで営業やプロモーション業務後、市の第三セクターで新規事業の新卒採用支援を立ち上げる。その後の私立大学勤務はトータル12年うちキャリア関連8年							
実践的教育	①新卒採用支援経験：学生と企業との交流会や、合同企業説明会を実施した経験を企業の見方等に活かしている。 ②大学での就職支援経験：キャリア相談やガイダンス実施経験を、自己理解や授業、面接対策等に活かしている。 ③ワークショップ経験：自分を見出すワークショップ実施経験を、授業に活かしている。							
オフィスアワー	授業の前後30分に直接声をかけてください。							

科目の概要								
キャリア形成の基盤として、次の3つの観点①自分を理解する ②社会を知る ③未来をデザインする、をベースにして学んでいきます。 ①自分を理解する…自分の特徴（強みや弱み、価値観、考え方等）を明らかにし、今後の進路に役立てます。 ②社会を知る…昨今の社会傾向を知り、また、社会人からの話を通して、様々な生き方から視野をひろめて考えていきます。 ③未来をデザインする…将来の未来像、ありたい姿を多面的に考え具体化していきます。 ※主な進め方…講義・ワーク・グループディスカッション等 聴くだけではなく学生同士の対話や質問、主体的な参加を重視します。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	あり	あり	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP2	課題を行うことで、主体的な行動力を身に付けられます。							
DP3	社会背景を知り、今起きていることを考えながら今後の人生に応用できます。							
DP4	他者とのディスカッションから多様な考えや価値観、視野が広がり、自分に活かすことができます。							
教科書・教材								
教科書	教員作成資料・プリント							
参考文献	「はたらくってなんだ？」村山昇著・「20代にとって大切な17のこと」本田健著							
各自準備教材	筆記用具は毎回準備すること。下に写らない黒マジック							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	20%	-	30%	-	-	50%	-
教材の準備の忘れ物は受講態度からの減点になります。※受講態度にはグループディスカッションへの取り組み姿勢が含まれます なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
レポートや課題に関してはフィードバックを行うこともあります。								
履修上の条件・注意								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション 授業の目的や進め方、学習方法を理解する。	講義の主旨と目的、評価方法等を理解し、今後の生活に活用できる。	予習) シラバスを確認してくる。 復習) 授業の振り返りを行う。	60 分
第 2 回	自分の学生生活を考え、キャリアデザインの意味を理解する。	高校と短大の違いを理解し、今後の生活に活かす。キャリアの意味を理解できる。	予習) 高校と短大の違いを考えてくる。 復習) 学びをまとめる。	60 分
第 3 回	基本的なよりよいコミュニケーションとは何かを理解する。グループ活動を知る。PROGの説明	人間関係の基本となるコミュニケーション、アサーティブを理解し、日常に応用する。グループ活動のポイントが理解できる。	予習) コミュニケーションとは何かを考えてくる。 復習) 授業の振り返りを行い、生活に活かしたいことをまとめる。	60 分
第 4 回	学生生活で取り組みたい内容を具体化し、グループで発表する。	目的と目標の違いを理解し、学生生活を有意義にする。文章に落とし込める。	予習) 学生生活で取り組みたいことを考えてくる。 復習) 授業内容を振り返り、実際に行動する。	60 分
第 5 回	これまでの自分の経験を考え、どのような出来事があったのか可視化する。	ライフラインチャートを作成し、自分について客観視できる。	予習) 幼少期からこれまでの自分を考えてくる。 復習) ライフラインチャートを完成する。	60 分
第 6 回	自分の過去の出来事を 1 つ取り上げて理解を深める。	これまでの経験から、どのような学びや気づき、価値があったのか気づくことができる	予習) ライフラインチャートの追記があれば書いてくる。当日持参する。 復習) 経験からの学びや気づきなど感想をまとめる。	60 分
第 7 回	社会人から話を聞く。テーマ：プロフェッショナルなおもてなしと接し方を学ぶ【ゲストスピーカー：加藤 哲也】	異なる業界の経験者から実際に話を聴き、自分自身の人との接し方や生き方に活かす	予習) スライドサマリーを確認してくる 復習) 気づきをまとめる	60 分
第 8 回	社会人基礎力を理解する。	社会人基礎力の主な 3 テーマを説明できる。自分の改善点を知り今後に活かす。	予習) 働くために、どのような能力があればよいか考えてくる。 復習) 学生生活において、自分の行動指針をたてる。	60 分
第 9 回	知識をキャリアに活かす。テーマ：美・デザインする上での大切なポイント【ゲストスピーカー：林 三知】	美・デザインするためのヒントから、自分のキャリアのあり方を説明することができる。	予習) スライドサマリーを確認する。 復習) 気づきをまとめる。	60 分
第 10 回	自分と多様な価値観を理解する。	多様な価値観を知り。自己理解や他者理解ができる。人間関係において応用できる。	予習) 価値観の言葉には何があるか考えてくる。 復習) 気づきをまとめる。	60 分
第 11 回	社会とは何か、働くこと、社会との繋がりを考え自分の将来を考える。	働くことは自分にとって何かを考え、自分の将来に活かす。働くことの意義や意味を説明することができる。	予習) 働くことはどのようなことなのか考えてくる。 復習) 自分にとって働くことで得られることは何かまとめる。	60 分
第 12 回	自分の考え方の傾向を知り、くじけない考え方や見方を知る。	困難を乗り越える考え方や見方を理解し、今後に活かせる。	予習) できごとに対して、自分の捉え方の傾向を考えてくる。 復習) 気づきをまとめる。	60 分
第 13 回	企業と就職活動の全体像を理解する。	企業とはどのようなものか説明できる。就職活動の流れを説明できる。	予習) 気になる企業を新聞やニュースで調べてくる。 復習) 企業を調べてまとめる。	60 分
第 14 回	自己紹介と自己PRの違いを知る。自己PRの書き方を学び作成する。グループで発表し、お互いフィードバックする	自己紹介文と自己PRを作成する。わかりやすい伝え方で、自分のことを他者へ伝えることができる。	予習) 身近な人や良く知っている人に、自分の強みや弱みを聞いてくる。 復習) 自己PRを改善する。	60 分
第 15 回	まとめと解説 授業の振り返り	夏休みの行動計画を立てて、説明できる。	予習) 今後の行動計画を考えてくる。 復習) これまでの気づきをまとめる。	60 分